

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 流山教室

保護者等数(児童数) 22名 回収数 21件 (割合95%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	4		1	入口が階段になっているので小さい子には登りづらいのかなと思います。	建物の構造上の問題で直接的な対応が難しいです。前後に指導員がいて子どもがけがをしないよう十分留意して対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			1		
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	3			厳しいのは知っていますが言語聴覚士さんがいれば尚良いなと思います。	今後も言語聴覚士の確保に努めます。他教室にいる言語聴覚士による社内研修によって知識の共有をし療育に活かしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	2	6	あまり必要性を感じていません。	教室としても他施設との交流は予定していません。今後も保育園幼稚園との情報共有は継続していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	2		1		
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21				いつもありがとうございます。	今後も皆さんの相談や申し入れに即座に対応できる様に努めています。

保護者への説明等	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	19	1		1	違うお子さんのお知らせがリズムに入っていた事が一度あります。 大変申し訳ございません。今後はお知らせの電子化を検討して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2		1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	21				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	21				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			幼稚園よりもずっと落ち着いて楽しそうです。 これから子ども達が安心して楽しく通える教室運営を継続します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				HUGでの電子化が進むと先生達の手書きの負担が減るのではないかと感じます。いつも楽しんで参加させていただいています。これからもよろしくお願ひします満足しています。いつもありがとうございます。

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 流山教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	死角が出来ないように配置を工夫している。	特記無し
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	適正人数で配置する事が出来ている。	個別対応が必要な児童が複数名いた場合に配置人数が足りないと感じる事がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	教室内は段差が少なく、絵カードやひらがなを用いて情報伝達に配慮している。	玄関前の階段に手すりを設置してほしいが、共有スペースのため難しい。継続して、指導員の声掛けや位置によって階段昇降時の危険回避に努める。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	日々、活動終了後に教室内の消毒清掃活動を実施している。遊具も曜日毎に清掃している。	階下への配慮をしながら室内で子どもが身体を動かせる空間づくりにも努めていく必要がある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	モンキーハウスと称して個別に身体の使い方や発達を見る軽運動の部屋を設けている。	今後は子どもが、気持ちを落ち着かせられるようなスペース作りに努める。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	定期的にミーティングを行って、業務改善に取り組んでいる。	活動の計画や振り返りは今後も継続して実施してより良い活動を目指す。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	集計後保護者懇談会を設け、保護者の意見に対し回答し、対応している。	階段への手すり設置等教室単体では対応が難しい課題は解決できず、指導員の支援で安全を図っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員との対話時間を個別にとり、管理者に共有している。また毎月職員ミーティングを設け意見交換の場を設けている。	業務改善課題解決の過程や結果の把握が必要と感じている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	外部評価の実績は現在無し	特記無し
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	社内で月に1回研修を実施している。療育時間の隙間でこぼん本部のオンライン研修などに積極的に参加している。	今後も積極的に職員に研修参加を促す必要がある。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	作成の際に職員間にも意見を募り作成後保護者に公表している。	特記無し
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	作成の際に保護者との面談と指導員でのカンファレンスをして作成している。	保護者の求める支援はもちろん、子ども達の求める事にも今後より一層目を向けて支援をする必要がある。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	日々の療育後に指導員間で子どもの事で共有した事を終礼やノートに記して共有している。	常に計画を作成する上で、子どもの最善の利益と保護者の願いと指導員の考えいすれかに寄りすぎない様に意識して作成する。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援計画を回覧等で回して指導員全員が目を通せるようにしている。	計画に対してどのように活動計画をたて支援をするかを明確にする必要がある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	利用者から提供されたアセスメントツールの結果を指導員間で共有している。	代表的なアセスメントツールの理解を指導員に拡げていく必要がある。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	本人支援や家族支援・移行支援を具体的に設定し記載している。地域支援に関しても保育所や幼稚園と連携をとっている。	今後も児童の状況やご家庭の状況に合わせて、適切かつ具体的な支援を設定できるように努める。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	指導員からの案を募って、対象児童に即したプログラムを立案している。	今後も職員と児発管が連携し、適切なプログラムの作成に努める。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	曜日毎に五領域の活動が満遍なく全て入れるように配慮してプログラム作成を行っている。	同じ活動でも内容を変えて子供が経験出来る事を増やせるように努める。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	集団活動を主としているが、子どもや支援内容に合わせて個別活動を組み合わせている。	個別活動による支援が必要な場合は専門的支援につなげていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝礼でその日の支援内容の確認を必ず行い、昼礼も実施して午後勤務の職員にも内容が伝わるようにしている。	特記無し

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	児童別に活動記録を残している。後日指導員で共有して支援方法の改善をしている。	特記無し
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半期に一度保護者と面談モニタリングを実施している。	今後も児童の状況に合わせて早めのモニタリング・支援計画の見直しに努める。
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児発管と指導員が帯同して参画している。	今後も関係機関連携の強化に努める必要がある。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	特定の医療機関と連携している。市役所の関係機関と連携を図っている。	幼保小学校、特別支援学校等と今後も連携を深めて支援の質の向上に努める。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	保護者を通して幼稚園や保育所に訪問した際に、適切な情報共有を行っている。	併用している他の療育施設との連携が課題である。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	自治体主催の引継ぎ会に参加して共有を図っている。	特記無し
	28 (28～30は、センターのみ回答)				
	地域以外の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	各児童発達支援センターの専門員と定期的に連絡を取っている。スーパーバイズは受けていない。	今後は支援内容等をより共有して助言等をもらい支援の質の向上を目指す。
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	法人内の別教室の児童間での交流は実施している。	外部施設の子ども達との交流は施設間での連携調整が難しく実施予定無し。	
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	面談以外にも送迎時や、電話連絡で情報共有をしている。	連絡帳の書き方等、職員によって差異がある。統一は難しいが、できる限りとおの得ていきたい。	
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	毎年複数回に分けてペアレントトレーニングや子育て勉強会を実施している。	全体発信で参加を促しているが、個別に研修やトレーニングの参加を促す事で参加率を促す必要がある。	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時、また規定が変わった際に都度説明している。	特記無し
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	計画作成後、保護者と内容を確認し意思を尊重して作成変更している。	こどもの最善の利益を優先するにあたり言葉で汲み取る事が難しく指導員保護者の観点からどうしても入ってしまう。
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	面談時に説明している。送迎時には長時間の説明がでずぐに端的に説明することがある。	面談もオンラインなど駆使して、保護者様のニーズに沿いつつ丁寧な説明を行ってきたい。
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	電話やLINEにて相談対応をして必要に応じて直接面談で相談支援を行っている。	特記無し
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者懇談会を年に2回実施して保護者同士の交流の場を設けている。	きょうだい同士で交流する機会は今年度設ける事が出来ていない。
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談や申し入れがあった際には管理者と共有した後に適切に対応している。	特記無し
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	近日ブログからInstagramに媒体を変更してより多くの人に発信できるように努めている。紙媒体でもお便りを発行している。	今後も更新が遅れないように担当を設け更新を続ける。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報の取り扱いに関して	今後も留意していく。
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	保護者にはLINEの内容を簡潔にして送るように配慮している。	今後も対応の工夫を続ける。

非常時等の対応	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	社内で各委員会を設置し、それぞれマニュアルを策定している。 訓練に保護者を呼んだことはない。	引き渡し訓練の実施を要検討。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCP委員会を設置している。 職員訓練、児童を含めた避難訓練も定期的に実施している。	BCPの周知理解を深める必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	アセスメントシートに記載された物の全児童分を集約して全体共有している。	引き続き共有していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	4	現時点で、事業所に食物アレルギーがあつて医療的ケアが必要な児童はいない	新規児童への対応は常に整えておく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を作成し、適切な研修や訓練を実施している。	特記無し
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	災害に応じた避難先と連絡先を明記したカードを保護者に配布している。	家族への引き渡しや災害伝言ダイヤルの訓練を実施する必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハット報告書を頻繁にあげて共有して意識を高めている。	今後もヒヤリハットを見逃さずに再発防止に努めていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	社内で委員会を設置し、動画視聴や研修を実施している。	職員間で虐待防止への意識を強く持てるよう、今後も研修機会を持ちたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	2	現時点で身体拘束についての記載が必要な児童はいない。	今後必要な事態があった時は適切に判断対応をしていく。	